

令和7年度「地域と学校の連携・協働体制構築事業」実績報告関係様式

都道府県名	14_神奈川県
市区町村名	14205藤沢市
自治体区分	中核市

●R7年度に本事業で重点的に取り組む課題に応じた目標等の設定様式

実施自治体名	課題の類型1	課題の類型2	背景・現状・課題の詳細	左記具体的な取組のうち、令和6年度における取組の評価・分析を踏まえた取組	本事業で達成する目標(アウトカム)	目標の達成度を測る指標	現状の数値	単位	本年度の目標値	本年度の実績値	アウトカムの達成度に関する評価・分析(事業における成果、課題、改善点等)	目標等の公表先
14205藤沢市	①学校運営上の課題	01 教職員の時間外勤務の是正	市内の教員の約23%が、出退勤システムのデータ上、月45時間以上の時間外勤務を行っており、教員の業務負担軽減による時間外勤務の縮減が課題となっている。	<ul style="list-style-type: none"> 市全体で地域コーディネーターを、1中学校区あたり1名以上配置する(合計19名以上)。(前年度15名) 地域コーディネーターは学校と地域の連絡調整等を担い、教員の業務負担軽減を図る。 地域ボランティアによる授業補助や校外学習の見守り等を実施する。 	学校・家庭・地域の役割分担の明確化により、地域との協働が進み、教員の業務負担が軽減する。	月45時間以上の時間外勤務を行う教員の割合	23	%	20	18	<p>03 本年度の目標値を達成し、課題の改善が見られた。</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域ボランティアによる授業補助や校外学習の見守り等の実施が増えたため、教員の勤務時間削減に一定の効果が見られた。 32名をコーディネーターとして配置したことにより、上記支援が円滑化するなどの効果が見られた。 今後は、コーディネーターの配置人数を増やすとともに、スキルアップのための研修の実施や、学校と地域の連絡調整等をより円滑に行える体制を構築するとともに、継続的にボランティアの確保にも注力する必要がある。 	https://www.city.fujisawa.kanagawa.jp/kyouiku/kyoiku/shogai/komisuku.html